

7節 マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修

4. 7. 1 適用範囲

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面及びALCパネル面に、マスチック塗材を多孔質のハンドローラーを用いて塗る工法に適用する。

4. 7. 2 マスチック塗材塗り

(1) マスチック塗材塗りは、表4. 7. 1. により、○印の工程を行い、種別は特記による。

表4. 7. 1 マスチック塗材塗り

工 程		種別		塗材その他	商 品 名 希釈剤・希釈率	塗付け量 (kg/㎡)
		A 種	B 種			
下地調整		○(注)1		表 7. 2. 5 [モルタル面及びプラスター面の下地調整]又は7. 2. 6 [コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の下地調整]による。		
1	下地 押え	○	—	合成樹脂エマルジョンシーラー	—	0.12
		—	○	マスチック C 用シーラー	—	0.12
2	塗材 塗り	○	—	マスチック塗材 A	—	1.20
		—	○	マスチック塗材 C	—	1.80
3	仕上 材 塗り	—	○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント 2 回塗り	—	0.20

(注) 1. 下地調整の種別は、塗材その他の欄による。

2. 押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表7. 2. 6 [コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整]によるRB種とする。

- (2) マスチック塗材は、マスチック塗材の製造所にて調合されたものとする。
- (3) マスチック塗材は、施工に先立ち、かくはん機を用いてかくはんする。
- (4) 塗付けは、下地にくばり塗りを行った後、均し塗りを行い、次にローラー転圧によりパターン付けをして一段塗りで仕上げる。
- (5) 塗継ぎ幅は、800mm程度とし、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。
- (6) パターンの不ぞろいは、追掛塗をし、むら直しを行って調整する。
- (7) 部分改修工法は(1)から(6)までにより、既存部分との模様を合わせるように施工する。